

# 奥出雲町の平成22年度予算が決まりました

## 総額 210億6,368万円

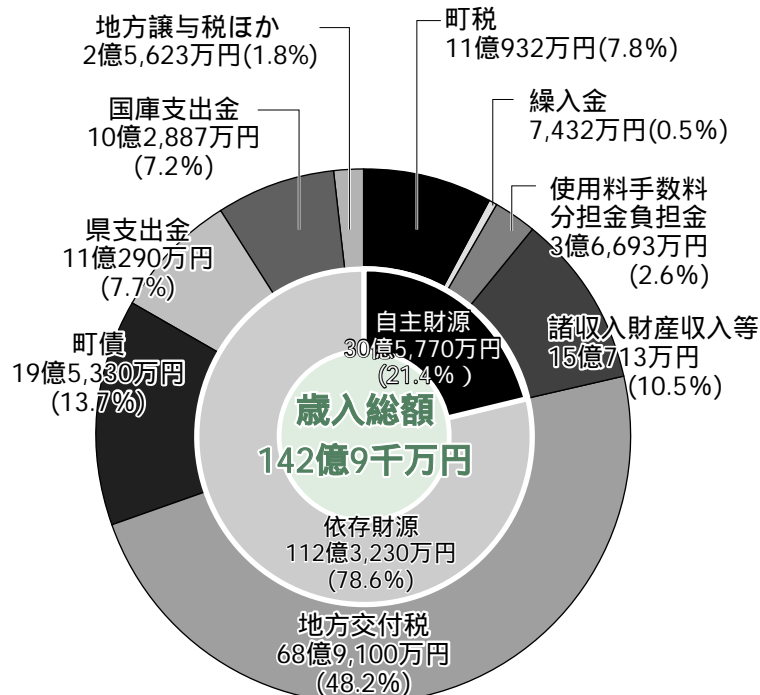
本町を取り巻く経済状況は依然厳しい状態にあり、雇用情勢も厳しい状況にあることから、町民の生活を守るため国、県、町が一体となった景気・雇用対策を切れ目なく実施するとともに、地域活性化対策、産業振興、新エネルギー施策などの重点事業を実施し、将来に向けた町民生活の向上を図ります。また、多子世帯をはじめとする子育て支援、保育所・幼稚園、学校の施設整備を実施し「安心して子供を生み、子育てができる環境づくり」を行なってまいります。さらに本年度は住民参画と協働による町づくりを目指すための重要な計画である町総合計画の策定を行い、来年度以降は、この計画に基づいた活力あるまちづくりに努めます。これらの施策を実施しながら、引き続き財政の健全化にも取り組み、将来にわたって自立可能な魅力ある奥出雲町の創造を推進します。

### 一般会計 142億9千万円

一般会計の予算規模は142億9千万円で、昨年度当初予算と比較して2.9%減少しています。

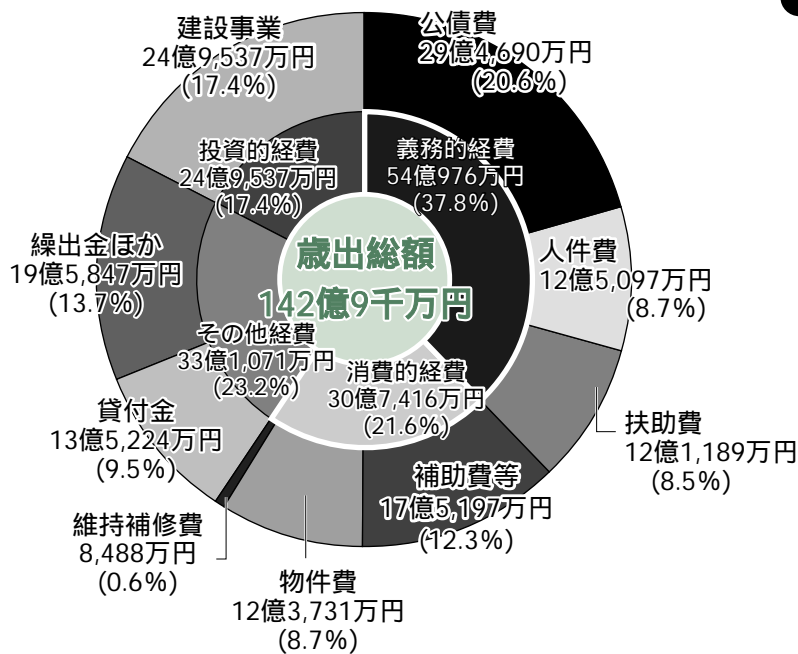
#### 歳入

町が主体的に収入している自主財源は30億5,770万円(21.4%)であり、このうち町税は11億932万円で、景気低迷による個人所得及び企業収益の減に伴い減収見込となり前年度比3.4%減となっています。また、地方交付税や国、県支出金などの依存財源は112億3,230万円(78.6%)で、有利な補助事業や起債を導入し財政運営を行います。



#### 歳出

投資的経費は24億9,537万円を計上し、繰越事業25億3,689万円余りと併せ、切れ目の無い経済対策を実施するとともに、町の基盤整備に努めてまいります。義務的経費(公債費や人件費)は54億976万円(全体の37.8%)となっています。特に人件費は職員定数の抑制、給与カット等により12億5,097万円に抑制し、予算総額に占める人件費の割合は県内市町村で最低の8.7%となっています。扶助費については子ども手当給付事業の実施等により2億7,000万円余り増加しています。また、町の借入金の返済である公債費は、昨年とほぼ同額の29億4,690万円となっています。補助費や物件費などの消費的経費は賃金、委託料の減により前年比5,334万円減の30億7,416万円(21.6%)を計上しています。



### 平成22年度予算の主な事業

- 過疎地域における社会基盤・生活基盤の整備
- 町道等道路整備事業 7億5,800万円
  - 尾原ダム関連生活再建基盤整備 3億2,100万円
  - 町営住宅の建設 2億700万円
- 雇用対策
- 緊急雇用創出事業 9,300万円
  - ふるさと雇用再生特別基金事業 5,800万円
- 地域活性化対策
- ふるさとづくり交付金(自治会活動等) 1,700万円
  - 住民提案型さらり輝く地域づくり事業交付金 500万円
- 定住対策
- 地域おこし協力隊事業(森林作業人材誘致) 300万円
- 産業の振興
- 仁多米施設整備事業(色彩選別機等) 2,000万円
  - 観光資源活用事業(鬼の舌震遊歩道整備) 1億5,700万円
  - 住環境リフォーム助成事業(一般住宅下水道接続補助) 2,300万円
- 子育て支援
- 子ども手当支給事業 2億800万円
  - 多子世帯児童生徒医療費扶助 1,700万円
  - 多子世帯保育料等軽減 負担軽減効果1,400万円
  - 横田保育所・布勢幼稚園施設整備事業 8,700万円
  - 父子扶助費の支給 100万円
  - 不妊治療費助成事業 63万円
- 福祉の充実
- 地上波デジタル放送受信設備購入補助事業 900万円
  - 高齢者交通サポート事業 400万円
  - 障害者介護給付費等扶助費 2億9,200万円
- 地域医療の確保
- 馬木診療所整備事業 4,900万円
- 教育の充実
- 小学校施設整備事業(亀高・三成・高尾) 5,800万円
  - 理科教育設備整備事業(小中学校) 700万円

### 地域エネルギー施策・環境対策

- バイオマスタウン構想策定費 300万円
- 不燃物埋立処分場高上事業 2億6,000万円

### 防災対策

- 消防ポンプ車整備事業 1,700万円
- 消防防災施設整備事業(耐震性貯水槽整備) 2,400万円
- 地域防災スクールモデル事業(防災教育の推進) 300万円

### 平成21年度からの主な繰越事業

- きめ細かな臨時交付金事業(経済対策) 2億5,000万円
- 町道等道路新設改良事業 3億6,400万円
- 小学校施設整備事業(亀高・馬木) 11億1,100万円
- 仁多中学校屋内運動場地震補強事業 2億900万円

### 特別会計

14の特別会計の総額は67億7,368万円で、奥出雲病院の運営をはじめ国民健康保険事業や下水道事業など町民の暮らしに密着した事業を行います。

#### 平成22年度各特別会計の当初予算

特別会計名	当初予算額
国民健康保険事業特別会計	16億3,000万円
後期高齢者医療保険事業特別会計	3億7,170万円
老人保健事業特別会計	186万円
介護老人保健施設事業特別会計	3億7,344万円
介護サービス事業特別会計	2億8,013万円
訪問看護ステーション事業特別会計	2,014万円
簡易水道事業特別会計	7億4,815万円
公共下水道事業特別会計	3億2,765万円
農業集落排水事業特別会計	4億9,011万円
合併処理浄化槽事業特別会計	1億5,892万円
仁多発電事業特別会計	1,256万円
三井野原スキーリフト事業特別会計	1,205万円
国営農地開発事業特別会計	8,415万円
奥出雲病院事業特別会計	22億6,282万円

### 平成22年度市町村普通会計当初予算概要

(単位:百万円、%)

	歳入歳出規模	普通建設事業費	基金残高(町の貯金)	経常収支比率
松江市	98,847 2.7	20,770 25.8	13,627 6.1	92.9
浜田市	33,500 1.6	4,978 12.5	7,063 1.3	91.9
出雲市	62,272 3.8	5,463 2.1	6,700 13.0	94.2
益田市	24,984 9.6	3,508 15.6	2,022 10.3	97.3
大田市	21,202 0.4	2,303 22.9	5,144 10.9	91.6
安来市	20,570 1.1	2,411 1.5	3,903 4.5	88.4
江津市	13,602 9.9	850 97.8	2,347 4.6	95.4
雲南市	25,918 0.1	1,601 17.8	6,452 2.7	96.0
東出雲町	7,348 32.3	2,419 59.5	1,470 26.4	91.2
奥出雲町	14,378 3.0	2,495 8.1	2,055 24.0	85.3
飯南町	7,376 13.7	1,535 30.9	2,562 3.9	95.7
斐川町	10,782 7.6	369 38.1	728 24.6	94.7
川本町	3,395 10.6	355 41.8	758 12.3	98.6
美郷町	6,780 14.4	1,476 6.4	2,288 9.5	93.5
邑南町	11,517 3.2	1,431 44.0	2,284 1.6	96.4
津和野町	7,600 3.7	864 13.5	2,052 9.1	95.0
吉賀町	5,587 1.0	260 16.7	2,225 4.7	93.2
海士町	3,669 6.6	601 31.5	730 0.4	92.9
西ノ島町	3,782 3.4	685 19.4	601 7.1	99.2
知夫村	1,057 8.2	11 73.0	569 2.0	105.9
隠岐の島町	14,268 5.8	1,666 54.5	3,678 0.6	94.7
市計	300,895 0.5	41,884 7.2	47,258 2.5	H20決算統計から
町村計	97,539 3.8	14,167 8.3	22,000 4.6	
市町村計	398,434 1.3	56,051 4.2	23,962 0.4	

島根県公表資料から

\*()内はH22-H21増減率

#### 【経常収支比率】

町の歳入に対し、歳出のうち公債費(起債の償還金)、人件費、補助費、物件費など必ず支払わなければならない支出の割合。

この数値が100%に近いほど財政に余裕がなく、90%を超えると危険ラインとされています。